

政策 4 産業振興(4)

中小企業の振興

目的

独自の技術や特色のある商品を持つ中小企業の新たな取組みを支援するとともに、経営改善や事業の安定化を図ることにより、力強い産業活動を推進します。

現状と課題

県内企業の9割以上が中小企業であり、その6割強が従業員4人以下の小規模な企業です。

島根県の経済構造は、公共事業など公的分野への依存度が高いため、民間需要主体の景気回復の効果が十分に及んでいない状況です。

中心市街地では郊外立地の大型商業施設の増加による商店街の空洞化が、また中山間地域においては過疎化・高齢化による商店の廃業が進んでいます。

取組みの方向

地域固有の資源や中小企業が持つ独自の技術・特色ある商品を活用した事業への新たな取組みを促進します。

中小企業の経営改善や事業の安定化に向けて、経済変動に対応した取組みを推進します。

中心市街地における商店街の再生や中山間地域における商業機能の確保など、商業の活性化に向け、市町村や商工団体など地域が中心となった取組みを推進します。

成果指標と目標値

成果指標	平成19年度		平成23年度
地域資源を活かした新商品・新サービスの事業化件数(4年間)	-		12件
県内中小企業の事業所数	40,146事業所		40,000事業所以上

地域資源産業活性化基金事業を活用し、地域資源を活かした新商品や新サービスを事業化した件数です。

経営相談や制度融資などの経営安定化支援により、中小企業の事業所数の維持を目指します。

県が実施する施策

特色ある技術・材料を活かした取組みの促進	・・・ P-128-
経営安定化の支援	・・・ P-130-
商業の振興	・・・ P-132-

県民の皆さまへ

自社の独自技術・特色ある商品や、身近に存在する資源を活用して、既存事業の拡大や新たな事業化などに取り組んでください。

自社の経営実態を客観的に把握した上で、市場ニーズに沿った企業活動を進め、経営の効率化や経営力の強化に努めてください。

県、県内各商工会議所・商工会、島根県中小企業団体中央会、財団法人しまね産業振興財団では、中小企業の皆様の様々な相談に応じています。

〔取組み事例〕

【商店街の取組み】

松江市中心部の商店街協同組合では、「全国に先駆けて、高齢者の方が住み良い地区にしよう」との発想から、アーケードの屋根下部への電線収納や車道と歩道の段差の解消により、歩行者の安全性を確保するとともに、白潟天満宮に「おかげ天神」を建立するなど、高齢者向けの様々な事業を展開しています。

【地域資源活用の取組み】

浜田市にある水産食品加工会社では、全国の水揚げ高で上位にランクされる浜田漁港の真アナゴを用いて、高付加価値の加工商品を開発し、全国に向けたブランド化に取り組んでいます。

安来市では、生産組合や多様な食料品製造業者が参画して、減反水田で栽培された大豆を活用し、“どじょうすくいのみち安来”のイメージを取り入れたヨーグルト、プリン、アイスクリームなどの商品開発に取り組んでいます。